

高城中学校だより

令和6年9月13日（金） 校長 飯干 裕二

第2学期がスタートし、約3週間が過ぎました。長い夏休みではありましたが、何よりも、大切な本校の生徒が、大きな事故等もなく、無事に第2学期をスタートできたことが大きな喜びです。改めて、保護者の皆様及び地域の皆様に心より感謝申し上げます。

本年度も公民館清掃ボランティアを実施しました

本年度も、去る8月23日（金）の8時～9時30分を目処に、高城中校区の公民館（12公民館）の清掃ボランティアを行いました。生徒会執行部が希望者を募ったところ、昨年度（144名）を大きく上回る、194名と多くの生徒が参加しました。



この取組は、本年度も生徒総会において、「地域貢献」のテーマで協議が行われ、その具体的な取組の1つとなっています。また、今回も、教育目標である「自立・貢献」のもと、生徒会執行部が中心となり、企画・立案・運営の全てを行いました。実施後の生徒の感想は、「地域との絆が深まった」「地域から必要とされていると感じた」などと、生徒の自己肯定感を高めることができました。快く受け入れていただいた各公民館長様に感謝いたします。また、清掃後に「中学生と語る会」を実施した公民館もありました。

最後にこの取組に際し、本年度もサテライト高城様に多大なるご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

観音池まつりに生徒会執行部が参加しました

本年度から初の取組となります。この取組も「地域貢献」の一環となります。

去る8月25日（日）の観音池まつりに本校の生徒会執行部が参加しました。テントブースをお借りし、サテライト高城様からお借りした「輪投げ」と「だる



ま落とし」を行いました。ゲームに参加した皆様には、現3年生が作成した、手作りの「高城観光パンフレット」と「団扇」を景品としてお渡しました。

さて、この祭りに参加できたことはもちろんですが、昨年度より行われた実行委員会に、本校の生徒が「ヤングアドバイザー」として出席し、大人の方々との話し合いに参加できることは、大変貴重な経験となりました。

翌日が2学期始業式であったため、活動時間は午後1時～午後4時までの3時間足らずでしたが、次年度はこの経験も踏まえ、更なる「地域貢献」に取り組んで欲しいです。

第2学期始業式

8月26日（月）から第2学期がスタートしました。今回の2学期始業式も、1学期終業式と同様に、熱中症対策としてリモートで実施いたしました。



さて、生徒代表のことばとして、4名の生徒の皆さんのが2学期の抱負を述べてくれました。代表者は、1年代表：丸目彩加さん、2年代表：和田瑠偉成さん、3年代表：米澤美玖さん、生徒会代表：塩満魁人さん（2年）です。4名とも目標達成に向けた具体的な取組を発表してくれました。大変中身の濃い、素晴らしい発表でした。

最後に3つほど「校長の話」として、生徒の皆さんにお伝えました。

1つ目は、2学期も本校の教育目標を基盤とした、「自立・感謝・貢献」を1セットとした取組を行って欲しいことです。

2つ目は、「自己肯定感を高めること」です。色々な自分が存在しても構いません。しかし、その全ての自分を受け入れ、決して自分を否定しないことです。生徒の皆さんには、沢山の方々から愛されているかけがえのない存在です。だからこそ自分を大切にして欲しいとお願いしました。

3つ目は、今年の夏の高校野球での選手宣誓（智弁学園和歌山高校 辻旭陽選手）において「努力しても報われるとは限らない しかし 努力しないと報われることはない」と発した言葉についてです。これは元メジャーリーガーのイチロー氏が高校球児に伝えた言葉です。そこで、私自身の人生を振り返って、以下の内容を生徒の皆さんにお伝えしました。「私の人生を振り返って、努力しても報われないことばかりでした（努力が足りなかつたと言えばその通りですが・・・）。特に目標が高ければ高いほどそうでした。これは他の人も同じで、当たり前だと思います。しかし、報われなかつた時、分岐点が表れるのです。報われるまで工夫をして何度も挑戦するのか。才能や資質がないと思い完全に挑戦するのをやめるのか。また、別の目標を設定して挑戦するのか。どれが正解だと思いますか。私は、どれも間違いではないと思います。しかし、大切なのは、しっかりと自分で判断し、決して後悔しないことだと思います。」

以上の内容の話ををお伝えし、最後に安心で安全な充実した学校生活を送ってくれることをお願いして「校長の話」とさせていただきました。

改めて「地域の中に学校はある」と感じています

夏休みに生徒が取り組んだ「地域貢献」については、記載させていただきましたが、それ以外にも地域の方々から、各地区で行われた夏祭りに、今まで以上に多くの中学生が参加し、お手伝いまでしてくれたとのお礼のご連絡をいただいております。「地域貢献」が着実に浸透していると感じています。さて、公民館清掃ボランティアを行っている時の生徒の表情は、実に生き生きしており、学校では見せない表情を感じ取りました。まさに自己肯定感が高まった瞬間ではないでしょうか。そのような絶好の機会にご協力いただいた地域の方々に感謝いたします。改めて「地域の中に学校がある」と強く感じています。